

第 85 回大阪メーデー

労働分野の規制緩和は許さない

働く者の声を結集 大きなうねりをつくろう

(大阪地連)

2014年5月1日 第85回大阪メーデーを太陽の広場で行った。

第85回大阪地方メーデーが5月1日、大阪城公園・太陽の広場で開催され、4万人が参加しました。今年のメーデーは16年ぶりにデモ行進が復活。約3000人の仲間が難波宮跡講演からメーデー会場をめざす結集デモに参加しました。デモ参加者は、安倍政権が進める労働分野の規制緩和に反対するため、シュプレヒコールで「労働者保護ルール改悪反対」を力強く市民にアピールしながら約3.5キロを行進しました。



式典では山崎弦一連合大阪会長があいさつし「平均賃金方式での回答引き出し組合、全国や大阪においても昨年度婦時期を大きく上回り、回答額も平均で1000円以上の増加となっている。しかし、全体の6割強の組合が現在も交渉を続けている。皆様のご支援をお願いしたい」と述べました。また、「政府が進めようとしている労働分野の規制緩和の動きは決して見逃せない。労働力の移動を妨げ、けいざいせいちょうを妨げているとして、労働者派遣法規制、解雇規制、労働時間規制の緩和などが検討され、さらには、国家戦略特区による労働契約法・労働基準法の適用除外なども検討されているが、これらの動きはその内容・手法ともに極めて問題と言わざるを得ない。成長産業が創出されない段階で解雇規制を緩和し、労働者を労働市場に放り出すことは決して許されない」と怒りをもって訴えました。さらに「連合が目指す『1000万連合』の実現のため、働く者の声を結集して世論を喚起する大きな社会的うねりを作っていこう」と力強く呼びかけました。また、来賓として辻元清美衆議院議員、尾立源幸参議院議員らが連帯のあいさつを行いました。全自交大阪地連からは、デモ行進に21名、式典に41名が参加しました。